

●開催趣旨 ～『全国民泊マラソン』とは？～

智頭町は、「みどりの風が吹く“疎開”のまち」をキャッチフレーズに、ゆったり深呼吸できる豊かな自然空間と人々のつながりを育むまちづくりに取り組んでいます。

訪れる人がほっとできる癒しのまちとして、町内にある40軒の家庭が『民泊』を受け入れ、宿泊されるみなさんに、田舎らしいおもてなしで心温まるひとときを提供しています。

そんな中、まちづくりの事例を学びながら、日本全国をマラソンで縦断していた「まちおこしランナー」森弘氏が、立ち寄った智頭町で『民泊』を体験。『民泊』を通じて感じられる人の温かさ、そして、まちに広がるたくさんの魅力を全国に発信するために、多くの方に『民泊』を体験していただきたいとの思いから、自身が続けてきた『マラソン』とのコラボイベントを智頭町長に提案。本年が町制施行100周年を迎えた記念の年となることから、参加者を100人に限定し、全国初となる「全国民泊マラソン」を開催することになりました。

1日目は、智頭町の魅力や取り組みを体感していただいた後、民泊家庭でゆったり田舎暮らしを体験ください。

2日目のマラソンは、町内をぐるりと1周する起伏に富んだ約30kmのコースを巡りますが、競技性を追求したものではありません。各チェックインの制限時間には注意が必要ですが、古くからたたずむ町並みや秋の準備を進める里山の風景を楽しみ、そして地域の人々と交流を図りながらゴールを目指します。